

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年4月10日

仕事の内容	義務教育就学児医療費助成事業					
担当部署・課長名	子育て支援	課	手当・助成	係	課長名	鈴木 礼子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 4	-
【施策名】 児童福祉の推進	総合計画書 (ページ)	59	

予算名	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	事業	7	義務教育就学児医療費助成事業費
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	---------	----	---	-----------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	児童(小・中学生)の保護者 →	児童(3/31時点7~15歳)の人口
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	児童(小・中学生)の保護者 →	医療費助成件数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	①申請受付 ②所得調査 ③審査 ④決定・医療証送付 決定後 ・現金給付、現物給付処理 ・更新処理・医療証送付 ・消滅処理 →	受給児童数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	7,040	7,029	6,991	
	成果指標	②の数値	件	68,725	68,182	69,152	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	人	5,677	5,717	5,777	

3 経費	事業費(実績)		円	146,614,322	146,227,822	144,705,496	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	69,037,322	67,602,822	20,491,496	
		特定財源	円	77,577,000	78,625,000	124,214,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	4,133,500	4,126,500	4,122,000	
	職員人件費(再任用)	円	0	0			
	事業費+人件費	円	150,747,822	150,354,322	148,827,496		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	平成19年10月施行 0~6歳児対象の医療費助成事業がすでにあり、さらなる子育て推進の一環として都の制度が創設された。 少子化が進むなか、子育てしやすい環境づくりをするための事業実施が進んできた。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 対象者の医療保険分の負担は、開始当初の自己負担の3分の1から、平成21年10月に通院・調剤は負担なし、通院は1回上限200円に拡大。また、平成24年10月から児童手当の所得制限改定に準拠し、所得制限を引き上げた。

仕 事 の 内 容	義務教育就学児医療費助成事業					
担当部署・課長名	子育て支援	課	手当・助成	係	課長名	鈴木 礼子

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	6歳までの乳幼児医療助成制度のように、所得制限の撤廃・助成割合の拡大の要望がある。また、助成対象年齢の18歳までの拡大の要望もある。					
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取組みは無い	取組手法	該当なし			
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点						
該当なし						
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容					
	特殊なケースがあった場合の東京都の回答内容や調べた内容などを分かりやすいように記録に残す。また、年度更新等のマニュアルを作成する。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	過去の記録を調べる際にすぐに分かるよう、フォルダ内を整理し、各事例をわかりやすくまとめて記録した。また、年度更新等の詳しい流れをマニュアルとして残した。					
	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
上記のものが古くならないように常に更新する必要がある。						
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	特殊なケースがあった場合の東京都の回答内容や調べた内容などを分かりやすいように記録に残す。また、年度更新等のマニュアルを作成する。					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	過去の記録を調べる際にすぐに分かるよう、フォルダ内を整理し、各事例をわかりやすくまとめて記録しておく。また、年度更新等の詳しい流れをマニュアルとして残す。					
(3)改革・改善案による期待成果						
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。						
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費は維持する。	